

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス からふる		
○保護者評価実施期間	R7年4月1日 ～ R7年5月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	R7年4月1日 ～ R7年5月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年5月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児の状態観察、行動、変化などを把握し、日々の記録を残し、保護者様や関係機関との連携、共有を図りながら意見交換を行いやすい環境づくりに取り組んでいる。	・支援プログラムをもとに、月間スケジュールに沿った活動を提供する様にしている。	・職員のスキルアップの機会を設け、知識を有効活用し児童への様々な視点からアプローチ出来る支援を行う。 ・家族支援、関係連携機関への支援のアプローチ、共有、認識の温度差が生じない様、常に連携を強化した取り組みを行う。
2	・五感を感じることが出来る環境の中で、自然遊びや外での活動も積極的に取り組み、感受性豊かな心を養える環境を提供する時間の確保が出来ている。	・自主選択制も取り入れた活動を行い、生きる力を身につけることが出来るような関わり方を支援している。	・療育的な専門性のスキルアップの機会を設け、質の良い療育を提供出来るように研修等を強化する。
3	・地域の活動や取り組みに誘って頂ける環境が大いにある為、挑戦することや経験すること、体験を出来る場を提供し、社会生活への訓練時間を確保することが出来ている。	・定期的に外部事業所や、地域の方々と連携を図りいろんな場所で過ごすことが出来る環境調整を行っている。	・生きる為、一人ひとりに合った自立、就労へ繋ぐことが出来るよう様々な企画を考え取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育の中で、手段や助言の幅を広げたアプローチ支援を増やす必要がある。	・児童の日々の状況報告は出来ているが、療育的アプローチのスキルアップが出来る取り組みがなかなか出来ていない。	・事業所内、又は外部からの研修機会を設けて職員のスキルアップに繋げる必要がある。
2	・事業所内での研修など、保護者様へもっと理解して頂けるよう連携を強化する必要がある。	・口頭での報告は行っているも、保護者様向けのイベントを推進出来ていない。	・保護者様や関係機関等の職員も参加できるイベントや活動を企画し、連携を強化することで質の良い関係を構築する必要がある。